

会議録

会議の名称	第7回定例教育委員会
開催日時	令和5年10月27日（金）9時30分から10時30分まで
開催場所	加東市役所 3階 301会議室
議長の氏名 ・藤原 哲史	
出席委員の氏名 ・田中 寿一 ・後藤 純子 ・岸本 恵一 ・別惣 裕美子	
出席した事務局職員の氏名及びその職名 ・教育振興部長 鈴木 敏久 ・小中一貫教育推進室長 丸山 真矢 ・子ども未来部長 田中 孝明 ・子ども教育課長 下岡 正裕 ・子ども未来部参事兼学校教育課長 井上 聡 ・学校給食センター所長 大久保めぐみ ・小中一貫教育担当参事 神田 英昭 ・中央図書館長 田中 美紀子 ・教育総務課長 西山 英希 ・発達サポートセンター所長 友藤 由貴子 ・生涯学習課長 岸本 孝司 ・教育総務課副課長 堅田 美佳	
議題、会議結果、会議の経過及び資料名 1 議題及び協議事項、その他 〈議題〉 第25号議案 加東市東条公民館の臨時休館の件 第26号議案 加東市加古川流域滝野歴史民俗資料館の無料開放について 第27号議案 加東市立図書館宅配サービス実施要綱制定の件 〈その他〉 ・小中一貫校整備状況について ・滝野地域小中一貫校の通学方法について ・後援名義の許可について ・各課主要行事予定・報告	
2 会議の経過	
発言者	会議の経過 / 発言内容
教育長	(1) 開会
教育長	(2) 教育長挨拶
教育長	(3) 会議録署名委員の指名 ・田中 寿一 ・別惣 裕美子

教育長	(4) 前回会議録 【質疑応答なし】 ・承認とする。
教育長	(5) 教育長報告
教育長	(6) 議題 第25号議案 加東市東条公民館の臨時休館の件 ○事務局から説明 【質疑応答なし】 ・承認とする。
教育長	第26号議案 加東市加古川流域滝野歴史民俗資料館の無料開放について ○事務局から説明 【質疑応答なし】 ・承認とする。
委員 事務局	第27号議案 加東市立図書館宅配サービス実施要綱制定の件 ○事務局から説明 【質疑応答】 大変いい制度だと思うが、登録しないと貸出しできないということか。 はい。
委員 事務局	登録者に該当するかの判断は、館長の判断ということか。 職員が登録者のご自宅を訪問して、様子を見た上で館長が判断することになる。
委員 事務局	分かりました。 配送は誰が届けて、どのくらいの人数を想定されているのか。 何人応募するかわからないので、図書館の職員で配送を考えている。人数が増えれば、そのとき考えたい。一応、10件を想定している。
委員 事務局	分かりました。 今現在、問い合わせは来ているのか。 多くはないが来ている。無理を言ってご近所の方に図書館まで車に乗せてもらっている方もおり、家まで来ていただけるのは、ありがたいという声を聞いている。
教育長	ニーズがあるという話を前から聞いていた。やっていくうちに、いろいろあるかもしれないが、しっかりとお願いします。
教育長	【その他質疑応答なし】 ・承認とする。

<p>教育長</p>	<p>(7) その他 小中一貫校整備状況について 滝野地域小中一貫校の通学方法について ○事務局から説明 【質疑応答なし】 社地域の小中一貫校については、この庁舎東側の窓からも工事状況がご覧いただけます。体育館も形が出来上がっているのが確認できます。</p> <p>後援名義の許可について 【質疑応答なし】</p> <p>各課主要行事予定・報告 【質疑応答なし】</p>
<p>教育長 委員</p>	<p>委員の方には研究会にご参加いただきましたが、いかがでしたか。 東条学園の書写書道研究会、鴨川小学校のへき地教育研究会に行かせていただいた。両方とも、現職であってもなかなか参加することの少ない研究会であり、大変貴重な経験をさせていただいた。書写は授業が難しい中でしていただいて、子どもたちが一生懸命学ぼうとしている姿を見られたのは、よかったと思う。へき地については、来年で閉校する鴨川小最後の全国大会ということで、いい記念になったと思う。本当にどちらもいい研究会でした。</p>
<p>委員</p>	<p>初めて研究会に参加させていただきました。特に印象的だったのは、へき地教育研究会です。違う地域の同じような小規模校に勤務されている先生の話子どもたちが聞くという、とても貴重な場に立ち合わせていただいた。先生方が学校のことを生き生きと話されていて、子どもたちが感心している様子を見ながら、こちらも楽しくお話を聞かせていただいた。</p> <p>小中一貫教育のことで地域の方から聞いた話がある。その方は、教育委員会は、小中一貫教育について学校や園に子どもを通わせている保護者には、ある程度周知しているようだが、それ以外の地域の方々に対しての説明が、少ないのではないかということであった。反対意見は持っていないくても、何となく漠然とした不安を持っている人が自分の周りにもいるということであった。もう少し教育委員会から地域住民に対して説明が必要なのではないかとお考えのようだった。</p>
<p>事務局</p>	<p>その方は、先月、来庁され、滝野地域小中一貫校が開校するということは分かるけれども、地域が一番不安としているところは、通学の問題であるとのことをご意見を伺った。子どもたちが新しい通学路を通るにあたって、私たちも子どもの安全を守りたいということであった。北野地区については、既に滝野</p>

	<p>地域小中一貫校までのルートが想定でき、滝野大橋を通らざるを得ず、橋を通ることについて不安に感じるということであった。橋に歩道はあるものの幅が狭く、自転車同士がすれ違うことができず、自転車が橋を通るときは、片方の自転車は橋を渡らず待機しているというような状況の中、子どもたちは徒歩通学しなければならないということが、不安であるということであった。また、歩道の舗装も老朽化しており、修繕が必要な状況であるということもお聞きした。そういった不安に対して教育委員会事務局は、どのように考えているのか説明して欲しいということで、「市政出前講座」に申し込まれたので、北野地域に出向き、通学路について説明してきた。当日、北野地区と穂積地区の保護者、地域の方21名が参加された。事務局は、通学路の今後の取組みについて、スケジュールをお伝えした。今年度はスクールバスの場乗降場所が決定しているので、令和6年度から通学路の選定に入ること、令和7年度には通学路の危険箇所点検をお願いしたいこと、そこで、「通学路安全プログラム」を通じて、教育委員会事務局へ要望を出していただきたいことをお伝えした。出席者からは、歩道の幅は狭いし、手すりの高さも十分ではないので、令和7年度を待たずにできることはしてほしいというご意見をいただいた。事務局からは、歩道を拡張するなどできないものの、来年度以降、滝野地域小中一貫校の通学路としてお聞きした要望を挙げていかないといけないという話をして、納得していただけた。</p>
<p>教育長 委員</p>	<p>誠実な対応をお願いします。</p> <p>書写書道研究会の専門の方の子どもに対する指導は、常に上手に工夫されており感心した。皆が字を上手に書けるようになりたい向上心のある子どもばかりではないと思うが、今回は対象が1学年だけだったが、字を上達させたいと考えている他の学年の希望者だけでもいいので全員に教えていただく機会があれば、もっとよかったのではないかと思う。また、へき地研究会では全国からへき地の方が集まっており、思っていることを言わなくてもわかっているようなアットホームに同志が集まっているという感じで、熱意に感心した。とても有意義な大会であった。</p> <p>書写書道研究会に行った。書道自体が授業で取り扱われることが少なくなっているように感じる。日本の伝統文化である書道を継承しながら残していくために、書道の授業をもう少し増やすことができればと思った。講師がお話されていた水筆を自身でも早速購入した。鴨川小学校のふるさと太鼓はとてもすばらしく、6年生は最後の演奏になると言っていたが、心のこもった良い演奏で、見に来られた他の地域の先生方も感動されていた。</p> <p>滝野南小学校のオープンスクールが中止になっていたことを知らずに、訪問してしまったが、快く案内していただいた。音楽室で子どもたちが合奏をしていたので、そっと入っていき、終わったところで拍手をしていたら、もう一度最初から演奏し直してくれた。普段の学校訪問では1曲全部を聴く時間が</p>

教育長	<p>取れないので、いい機会をいただいた。</p> <p>委員の同志という言葉がありました。本当にへき地教育に携わる方の熱い想いも感じましたし、同志という言葉がぴったりかなと私も思った。その中でもよかったなと思ったのは、先生方もいろいろな方が参加されており、いろいろな方とお話しをすることができた。北は北海道から南は沖縄までいらっしやっただが、やはり話し合いするときは同質の集団ではなしに、異質の集団であればあるほど、子どもたちの話し合いが深まり、高まっていくということで、改めて狭いへき地の中でも、やはり広く物事を捉えていくことが必要だと思った。閉校ということもありますが、立派ないい教育機会であったと思う。ありがとうございました。</p> <p>次回 11月29日（水）午後1時30分～市役所3階301会議室で開催予定</p> <p>（9）閉会</p>
-----	--